

令和2年度 第3回南丹市社会教育委員会議 会議録

日 時：令和3年2月1日（月）午後2時から午後4時

場 所：南丹市役所 2号庁舎 3階 301会議室

出席者：（順不同、敬称略）

社会教育委員：小南仁、清水範子、麻田健治、栗田千八栄、片山幹雄、
片山智文、大嶋久美子、岡島賢峰、北村友子、古北真里、
宅間治郎（欠席者 伊藤雅史）

事 務 局：木村教育長、中川教育次長、藤林社会教育課長、浅田課長補佐、
村上社会体育係長、上村主事

傍聴人：0人

1 開会

2 あいさつ 小南代表、木村教育長

3 報告事項

（1）検討部会の開催について

（事務局説明）

以前、報告していることに加え、1月26日に検討部会を持ち、前回の全体会
の中で利用者にアンケートを取ってみてはどうかというご意見を頂戴し、実施
したそのアンケート結果と、今日の会議の進め方について検討した。

（2）体育施設の利用に関するアンケート調査結果について

アンケート結果を報告。

4 協議事項

（1）南丹市社会体育施設の有効活用に向けた今後の在り方について

（事務局説明）

資料に沿って説明。人口減少が予想される中、スポーツをする人・楽しむ人は
大きく増減しない。また、施設が多い分、維持管理費が増える傾向にあるが使用
料はそんなに増加していない。施設の老朽化が進むことで破損による修繕費が
多くかかっている状況にある。

スポーツ推進計画の基本方針の3本柱の一つに「誰もがスポーツに親しむ環
境を整備する」とあり、それが今年度社会体育施設の在り方を検討していただ
ききっかけとなった。

大きな課題として、多くの施設の老朽化が非常に進行しているが、施設利用者

の安全・安心の確保が1番大事であることや市民が利用しやすい施設運営、市民にわかりやすい施設利用であることが挙げられる。

多面的な視点により、検討を進める必要があると考えている。今まで検討していただいた内容も含め、今回のアンケート結果をお聞きになり、率直な意見を伺い、答申へと反映させていきたい。

(委員質疑)

(委員) コロナの影響で、利用者も躊躇されているのではと考えるが影響は？

(事務局) ある。自粛要請もしていることから今年度は利用は減っている。

(委員) 祝日の利用ができないところもあるとの説明があったが。

(事務局) 施設の休館等は条例に定められており、園部管内施設については、祝日が休館日になっているため利用できない。

(委員) 南丹市の施設でありながら、旧町の方法を引きずっているのがアンケートから見える。

(委員) 申込や手続きが統一でないこともアンケートに出ている。それも含めて統一を考えないといけない。

(委員) 施設の統合なり集約することは必要かと思う。

(委員) 利便性の悪い所は改善すべき。民間の施設を利用している人もあると思うが、民間も利用しつつ市の施設も維持していく。例えば、民間施設を利用した人への補助とか多面的な利用も考えるべきではないか。

(事務局) 民間施設の利用をしている団体の有無は確認していない。民間活力の利用については検討していきたい。

(委員) 修繕に多額の費用が予想される施設でもお金がつけば直して使えるのか？でも、お金がない。ネーミングライツを活用していくことも必要ではないか。

(委員) 修繕計画をするまでに老朽化が進む。人口推移からみると人口は減ってくる。人口の割りに施設が多い。どうしていくのか？後の維持管理には民間活力も必要。市は減免がある。これがあると収入が見込めない。減免だけで年間200万円。施設利用の統一は規模もあり難しいと思うが、利用規定の統一は図るべき。京都市や大阪市でもネーミングライツが入っているためそれも視野に入れる必要がある。利用する人が最低料金を支払うことも必要。

(委員) 体育施設が近くにあれば、誰もがスポーツに親しめる環境がある。

(委員) スポーツをする人は、どこかで何かを楽しめたらよいと思っている。アンケートの中に「地域として考えて欲しい」とある。集約的な所で見てもらえたら。どんどんしぼむと言うより、集約する、充実させる

という方向性がいいのでは。

(委員) 例えば、八木の BG プール、八木でニーズがあるかと言えばそうではない。閉まっているからといって苦情も出ていない。小学校のプールが新設された。学校と連携できればニーズが足りてくると思う。市内で見れば精選されてくるのではないか。

(委員) 地域の中でスポーツをする上でスペース等考えると地域性を考えることも視点の一つ。

(委員) 歴史的な背景もあるが、手がつけられなかったのもわかる。民間活力、指定管理もある。地域に指定管理の要請も一つかと思う。

(委員) 時代も変わり、今は子どもも少なく高齢者も外に出ない。施設利用も減

っている。一部の施設では利用が少ない。一時期利用も多かっただろうが、施設の在り方を考える必要がある。

5 その他

- ・南丹市文化センター審議会 片山幹雄委員、南丹市人権教育・啓発推進協議会 北村委員、片山智文委員、大嶋委員、栗田委員に就任いただくことを確認。
- ・次回会議は3月10日前後で開催することを確認。会場等確認の上、追って通知する。

6 閉会 清水副代表